

**議案質疑**

12月7日の本会議では、上程されている議案の質疑、一部採決、委員会付託が行われました。甲賀市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定、甲賀市開発許可の基準等に関する条例の一部改正、一般会計補正予算案の3議案について、日本共産党の3議員が質疑を行いました。日本共産党の他、凜風会の西村慧議員、公明党の堀郁子議員が質疑を行いました。主な内容を紹介します。

**令和3年度甲賀市一般会計補正予算**

■水口子育て支援センター、水口保健センター2つの機能を持つ複合施設を建設するための設計委託費に關して、積算の根拠、施設内容について山岡議員が質疑しました。包括支援センターも含め、子どもからお年寄りまで誰もが相談できる施設として設計されます。

■商品券発行事業、キャッシュレスポイント還元事業、甲賀の地酒応援キャンペーン事業について、感染拡大による事業者の影響、事業実施による効果、実施時期、委託料の積算根拠について、西山議員が質疑しました。

■職員定年延長対応支援業務委託費用について、業務委託とした理由、委託費の積算根拠、業者選定方法について岡田議員が質疑しました。

■甲賀市開発許可の基準等に関する条例 一部改正について岡田議員が質疑。

市街化調整区域内の災害ハザードエリアにおける開発許可の厳格化により、指定地域から災害ハザードエリアを除外するもの。岡田議員は、必要性、除外される面積、住民事業者への周知方法について問いました。また、空き家の利活用を促進するために、市街化調整区域内の空き家の賃貸を可能とする点について、現状と効果などについて質疑しました。

**甲賀市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定**

■甲賀市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について西山議員が質疑。

デジタル法に基づき市が新規条例として提案しています。西山議員は、条文を引用しながら行政運営の簡素化及び効率化とは何か、情報セキュリティは担保されているか、規則委任の内容は何か等について質疑し

ました。市は、手続きのデジタル化により、添付書類の削減など事務手続きが削減する」と。西山議員は、オンライン化の推進にあたっては、市民への丁寧な説明、いわゆる「情報弱者」への対応が必要なこと、安全性及び信頼性の確保には、個人情報流出の目的外で使われないよう、プライバシー保護の強化が課題と強調しました。

**今後の議会日程**

- 12月13日 本会議・一般質問
- 12月14日 (火) 産業建設常任委員会
- 12月15日 (水) 厚生文教常任委員会
- 12月16日 (木) 総務常任委員会
- 12月17日 (金) 予算決算常任委員会
- 12月22日 (水) 本会議・討論・採決

\*ぜひ傍聴にお越しください。マスクの着用をお願いします。



これからの日本の食と農業消費させない

12月4日午後、滋賀食健連主催の学習会が開かれ、東京大学大学院の鈴木宣弘教授が講演しました。鈴木さんは、「60kのお米の生産コストは1.5万円、ところが今年の米価は1万円を切った。このままでは米農家の担い手がなくなり、食料をつくる材料の多くを輸入に頼っている日本にとって、飢餓は他人事ではなくなる。コメは余っているのではなく、どんな時でも77万トンも輸入しなければならないことが問題。賃金が減って1日1食しか食べられない人が多い。食糧が買えない人を救うための制度をつくれれば、コメの消費が拡大する」と強調しました。

**2件の意見書を提案**

日本共産党甲賀市議員団は、議案提案権をいかして、2件の意見書を提案しました。採決は最終日の22日です。各党派、議員の態度が問われます。

山岡光広議員

- COP26の議論をふまえ温室効果ガス排出削減を求める意見書

岡田重美議員

- インボイス制度の実施中止を求める意見書

開会中の12月定例議会は、7日の議案質疑に続き、8日から4日間一般質問が行われました。日本共産党の山岡光広・岡田重美・西山実の各議員は揃って9日に質問しました。詳細は次号で紹介します。

<p><b>日本共産党</b> <b>甲賀市議員団ニュース</b> 2021年 12月 12日 第382号</p>	 <p>山岡 光広 甲南町森尻 16 Tel 86-2985 Fax 86-0415</p>	 <p>岡田 重美 土山町南土山甲 78-15 Tel 66-0696 Fax 66-0696</p>	 <p>西山 実 水口町本丸 3-28 Tel 62-3044 Fax 62-3044</p>
---	---	--	--